

# 広報 とき

1994  
(平成6年)

1/10

第667号

◆毎月10日・25日発行

静かに出荷の日を待つ  
角田のワイン

# 明日の巻町を考え 地域づくりを語る



座談会で語り合う面々。左側から藤野剛さん、石塚由美さん、五十嵐光一さん、佐藤町長、山賀議長、田辺企画調整課長、真田企画調整課長補佐（於：役場町長室）

あけましておめでとございます。  
新春座談会で佐藤町長、山賀議長を交えながら地域リーダーの塾長をはじめ塾生の皆さんにお集まり願ひ、大いに語りあつてもらいました。  
町長、議長には新年を迎えられた気持ちを、塾生の皆さんには、町制施行百周年事業で始まった人材育成事業のリーダー塾に参加されたの感想、地域づくり、町づくりなどについて話つていただきました。

司会 新しい年を迎え、今日、お集まりの皆様から大いに語りあつてもらいたいと思います。最初に、佐藤町長、並びに山賀議長から話題提供ということで一言ずつお願いします。

## 人材から人財へ

町長 これからの巻町の町づくりの夢について、皆さんが考えているいろいろな話を出してください。

町長	佐藤 莞爾	第一期生
議長	山賀 小七	第一期生
地域リーダー塾	五十嵐 光一	第一期生
塾生	藤野 剛	第一期生
塾生	石塚 由美	第一期生
司会	田辺 新	第一期生
オブザーバー	真田 清松	第一期生

人材育成事業が始まって、皆さんは地域リーダー塾の第一期生として二年間、一生懸命活動されて、迷いや悩みなどたくさんあったと思います。  
この人材育成が、どういうものなのか再認識してもらいたい。日本には人間国宝があります。私は、国民全てが国宝だと思います。その中で、なぜ人間国宝を指定しなければならぬか疑問がありました。ある特殊な分野で長年、独自の世界を作り守った人たちが、人間国宝に指定されているようです。それなら、町にも人間国宝があっても良いと思う。町にも大勢の方がいますし、全ての町民が町の宝です。  
人材とは、人としての材料です。材とは、磨けば光る玉になる石ころです。これから、皆さん方がいろいろな経験をされて人間としての財産、町の財産となる人財になっていただきたい。これが巻町の目標です。



佐藤 莞爾 町長

材料でしかない人材、しかし、そこに存在するだけの人、在りもありません。いるだけで、人や周りに迷惑をかける人罪もいます。一番悪いのは、地震や天候異変などの天災より、人が行う悪政などの人災。行政に悪政があつてはならないし、行政も間違つた方向にいくと、人災になります。

人材から人財になるには、みなさんが大勢の中で、いろんな葛藤をしたり、議論をしたりして、自分自身を磨きあげる人材であつてほしい。それが、必ず地域の発展に貢献できることです。  
どうやって互いに人間を磨き、心に光る玉を持つことができるのか。それが一番難しい。そのためにも、もっともつと自分を磨きあげたいと思う気持ちが必要。そして、常に自己研さんに努めてほしいと思います。  
司会 町長の話の中で出てまいりました行政の人災を監視する議



山賀 小七 議長

より敏感に対応したいと思つて、司会 議長から自己研さんという話がありました。百周年記念事業で町長が始められた人材育成事業の地域リーダー塾を「カンガク塾」と命名された五十嵐塾長から、参加し活動された内容を含めて感じていることをお願いします。

## 研修や視察をかさねて

塾長 早、二年が過ぎて、あと三か月位で任期が終わります。塾というものは、カリキュラムが組まれていて、それを勉強していけばいいと考えていたんです。ところが塾に入った研修カリキュラムも無く白紙で自分たちで勉強しろ、好きにやれという中で、塾長を引き受けてしまいました。最初のあいさつで「三根山藩の米百俵の精神を生かしたような国家百年の大計で人づくりをやれ、そうすればいい塾になる」と話しました。

塾生 塾長、私が塾生として、研修や視察をかさねて、人ととのネットワークが出来てきました。そして、地域づくりって、こんなふうにするのかというのが見えてきました。イベントも地域づくりの一つの方法として効果があるかもしれない。そこで、松代町のイベント「松代冬の陣」に参加しました。なんともいえない充実感がありました。こんなイベントを開催すれば町の人も盛り上がりが出て、町外の人も町に来てくれ

た。振り返りますと二年や三年、塾で勉強したからといって、我々がどれだけ進歩できたかというの、難しいですね。それに、そんな短い期間で考えたらいけないような気がします。  
我々は、最初の一年間は模索、模索でとにかく専門の知識のある講師を招いて講演を聞いたり、県内外の塾を視察したり、まず見ることと聞くことから始めました。ですから、議会の議員さんから見ると我々は何にもしてないように見えたんじゃないかと思つていました。非常に悩ままして、とにかく勉強が先だということ、一年以上、勉強、研修、視察を繰り返しました。

そんな中で、私は新潟県で地域リーダー交流塾の四期生に参加してきました。ここにいる藤野君は三期生です。そこで、県内の優秀な人たちと会つたり、県内外各地での研修や視察をかさねて、人とのネットワークが出来てきました。そして、地域づくりって、こんなふうにするのかというのが見えてきました。イベントも地域づくりの一つの方法として効果があるかもしれない。そこで、松代町のイベント「松代冬の陣」に参加しました。なんともいえない充実感がありました。こんなイベントを開催すれば町の人も盛り上がりが出て、町外の人も町に来てくれ

て、巻町を知ってくれるんじゃないかと考えました。そして、城山伝説を行いました。城山運動公園周辺の史跡等を利用して、子供から高齢者まで参加できるイベントにしようと思つていました。反省点も多かつたんですが第一回目としては満足して終わりました。  
また、イベントの他に、まちを知るといことで、各地区の神社の祭り調査を行いました。  
塾生として感じたことは「流れる水はただ清く、ころがる石に草はない」と言います。我々は二期生にバトンタッチして、とにかく新陳代謝を活発にしていかなければならないと思つています。  
我々も二期生とは別にオーバードクターでできるOB会的な塾を作つて、勉強し続けなければ、せっかくいま基本を学んできたのが発揮できないまま終わってしまう、という感じを最近持ちはじめました。



▲イベント「城山伝説」入場行進

## もっと女性の参加を

司会 石塚さん、女性として、参加されて感じられたことは、石塚 女性として、塾生の女性の数が少なかったことが残念でした。結婚して子供がいたりすると、難しい面もあると思いますが、もっと女性に参加してほしいし、参加しやすい雰囲気を作っていけたら良いと思います。

私の場合は、以前から何か創造的なことをしたいと思つていましたので、ここにくれば巻町のこと、少し分かるかな、自分のできることが見つかるかな、という怪しい気持ちでいました。それに、子育てが終わって、時間的にも余裕があつたので参加できたという気がしますが、最初、女性も四人いましたが、



塾生 石塚 由美さん (12区)

塾長 五十嵐光一さん (堀山団地)



塾長 五十嵐光一さん (堀山団地)

会の代表である、議長から抱負をお願いします。

## 変革の時代

議長 考えてみますと今の社会は、行政改革など政治も経済も変革の時代だと私は思っています。当然この変革の時代の中に生きていくわけですから、町民の皆さんは、自らの見識を高めるために、いろんな角度で勉強していると思つています。そして、考え方も多様化し、思想的にもいろいろな考え方を持っています。そういう町民の皆さんに行政は、行政なりに対処しなければならぬと思つています。当然、議会でも町民の皆さんのニーズ、考え方に敏感に対応できる姿勢が必要だと考えています。そんな中で、議会あるいは議員の皆さんの資質の向上が一番求められていると感じています。私たち議員ももっと研さんして、町民の皆さんの思想的な変化や要求などに、

いろんな事情でやめられて、女性  
は私一人になりました。それがす  
ごく寂しいことでした。どうし  
たら、女性ももっと気軽に参加で  
きるかなって思います。参加して  
その中にいるだけで、磨かれてい  
く部分はあると思います。

**司会** カンガク塾はどうですか。  
**石塚** 最初のころは、塾長の言  
葉のとおり、どうなるんだらうと  
いう感じがありました。一時だら  
けた時期もあったと思います。で  
も頑張りましたよ。最後に結局、  
城山伝説をやりましたね。

私は、お年寄りも、若い人も男  
も女もみんな一緒になってやれ  
ることがすごく大事だと感じてい  
ました。まったくその通り、ピッ  
タリの催し物だったと思っていま  
す。そして、体力がなくても、ま  
た体力がある人も参加できて、そ  
れなりの賞がもらえるということ  
で、誰でもが参加できるという意  
味では、究極のレースだと思いま



塾生・藤野剛さん(3区)

できてくると思います。先程、石  
塚さんが言われましたが、女性が  
だんだん少なくなっていくという  
ことは、大変問題なんです。女性  
が社会のいろんな分野に出ていく、  
これは世の中の風潮です。巻町の  
中には、まだ、引込み思案の女  
性が多すぎるんです。

先日、石川県門前町の日本海ふ  
るさと交流会に「のぞきからくり」  
を持って参加しました。近隣の市  
町村からも「村歌舞伎」とか「村  
芝居」などが参加して、ふるさと  
の伝統文化、芸能をなんとか守っ  
ていきたいというグループに入り、  
いろんな議論をしました。小さい  
子供のころから町の伝統芸能を知  
ることが必ず情操教育に結びつき、  
大人になっても心の中に残るもの  
です。だから、自分たちの素晴らしい  
町にいたいと思えるような、  
自分たちの町に夢を持たなければ



▲門前町「ふるさと交流会」のようす

す。老若男女皆が混ざって何かを  
一緒にやれるということがすごく  
大切なことだと思えます。  
また、農家の人たちも参加して  
一緒に考えていければもっ  
とバランスのとれた塾になると思  
います。

### 視野を広げて

**藤野** 当初、県の交流塾の募集  
案内があり、職場内で協議して私  
が参加しました。県の塾は、四回  
か五回で他の塾との交流などをし  
ました。県では、県内各地の地域  
おこしのいろんなグループでネッ  
トワークづくりをすることが一番  
のねらいであったと思います。参  
加して自分自身や他の地域の活動  
事例、また、いろいろな人の考え  
方などを吸収できて、効果はあつ  
たと思います。

その後、町の塾の募集がありま  
した。職場で塾生募集のPRをし  
た関係で私自身も、町の知らない  
ところを勉強すること、普  
段、付き合えないようないろんな  
方々と交流して、視野を広げたい  
という気持ちがありました。参加  
させてもらって本当に良かったな  
というのが実感です。  
事業内容は、先程、塾長のお話  
のとおりですが、私が一番イベン



▲親子で参加した「城山伝説」

トを実施することに、反対の意見  
を持つていた一人なんです。リー  
ダー塾は、自己研さん、人材育成  
が目的です。集まってくるメンバ  
ーはさまざま、町を良く知って  
いる人、また知らないから今回を  
機会にメンバーになった人など、  
各自レベルが違う。だから、レベ  
ルを平均化することが大前提と考  
えていたものですから勉強会が中  
心だろうと思つていたんです。け  
れども、結果的に城山伝説のイベ  
ントは、非常に良かったなあとい  
う感じがしています。  
**町長** 自己研さんしている時に、  
自分では気がつかないわけだから、  
周りから見ると、最初に会ったと  
きの違いがよく分かります。  
**司会** 町長がいつもいわれている、  
人づくりが地域づくり、それ

ならないと思います。  
そして、日本海ふるさと交流会  
で「町の仕事で何か事業やイベン  
トをするにしても、女性がいなけ  
れば駄目なんです。女性が集まれ  
ば、必ず男は後ろからついて来ま  
す。そのため何をすべきか。そ  
れは、三世代の女性、ジャリコン  
ギャルとピチピチギャルとオパ  
ンギャル、この三つを短くして、ジ  
ャル・ギャル・バルⅡギャルパッ  
クプランを作れということ。す  
若いギャルが集まってくれば、若  
い男の子もくるし、おばあちゃん  
やお母さんがくれば、おじいちゃん  
やお父さんも来るだろう。子供  
たちが来れば必ず親はついて来ま  
す。ターゲットを絞って、女性に  
やさしいイベントをすること、女  
性を大切にすることを、  
これが町おこしの一つのポイント  
になる」と言いましたら、すごい  
拍手でした。  
女性が集まらない、そういう環  
境、家庭条件は仕方がないけれど  
も、その会合などの時間帯を考え  
ればできることだと思つています。  
**塾長** 町づくりシンポジウムで、  
その時のコーディネーターから女  
性の参加が少なく、新潟県全体  
を考えて女性が少ないのはおかし  
い。もっと女性が出なければいけ  
ないと指摘していました。  
**議長** 今の社会で女性の皆さん  
は、自分で意識すればいろいろな

が町づくりなんだという持論です  
ね。議長さん話を聞きながらどう  
でしょうか。  
**議長** 城山伝説を聞いたとき、  
何をやるんだらうと思つたんです。  
行って見て、皆さんが常に自己研  
さんをして、その中からでない  
あの発想は出てこないんだと思  
いました。あれこそ地域からにじみ  
た発想であり、イベントだと思  
う。城山伝説には、感銘しました。来  
年するんだらう、私もぜひ参加  
したい。そういう気持ちになりま  
した。

### もう一つのねらい ネットワークづくり

**塾長** 城山伝説のもう一つのね  
らいは、町内のいろんな団体が  
全部出店して、城山伝説を機に巻  
町の小さい団体や大きな団体のネ  
ットワークづくりでした。なか  
か、そこまでは行きませんでした  
が、参加した団体の方々も楽しん  
で帰ってくれましたので、その意  
味では少しは成功したかなと思  
っています。

**石塚** 評判を聞いて、だんだん  
広がっていくと思います。  
**議長** 私もそう思います。城山  
運動公園に町はかなりの予算を投  
じています。施設が完成したらそ  
こをいかに町民の皆さんから利用  
していただくかというのが一番問  
題であつて、投資だけして使う人



真田清松 企画調整課長補佐

がいなかったら、無駄になります  
から。  
**塾長** 城山運動公園の芝広場は  
最高に利用価値がありますね。  
**議長** そういふ面では、芝広場  
で城山伝説のイベントを開き、大  
勢の人を寄せたということは、素  
晴らしいことだと思えます。

### 女性にやさしい イベントを

**町長** 皆さんが各神社の祭りを  
調べたということは、いいことだ  
と思います。自分たちの町を本  
当によく知つてこそ、よそへ行つて  
自分自身が誇りに思つて、はじめ  
て人にPRできるし、自分たちの  
町は、いい町だからもっとよくし  
ようという気持ちになる。その基  
礎がないと、いわゆるそこに  
だけの人になつてしまふ。  
その基礎は、いかにその良さを  
知るかということです。そこからス  
タートしていくといろんな目標が

会合なり、勉強会などに出られる  
んじゃないですか。  
昔と違って、生活環境もずいぶ  
ん変わつてきています。自覚があ  
ればできると思います。  
**塾長** 女性は子育ての期間は全  
て諦めなさい。あんな、子供の面  
倒をみないで勉強しに出掛けて、  
自分自身は勉強していいかもしれ  
ないが、子供が変になつたらどう  
するんだ。十年だつたら十年間諦  
めて、子育てに専念して母親の愛  
を全部そそぎなさいと講演された  
先生がいました。  
**石塚** それも極論という感じが  
します。私は働いていましたから  
どうしても、それは出来ませんで  
したが、それでも子供は、結構育  
つてきました。  
**町長** 逆に、子育てできなくて、  
仕事を持つたり、社会に出ている  
人は、いつでも若いでしょ、家庭  
の中に入ると急に老けるようです。  
それは逆に世間も狭くなるし、可  
愛そうだと思います。

### 自己研さんは 美の原点

**議長** 見識を持つて、勉強して  
いる女性はきれいだし、女性が美  
しくなる原点だと思ふ。あの女の  
子がきれいだってしても本当の意  
味の美人というのは、花の香りと  
同じで相対した時に伝わってくる

ものだと思つています。香りは、  
形も色もないものだから、それは、  
自己研さんして見識を高める事だ  
と思う。そうすると、巻町の女性  
は、みんな美人になる。  
**塾長** リーダー塾の塾生で、基  
本的には途中から入つた人は二期  
生に残つてもらつて、最初からの  
人たちは卒業したほうがいいと考  
えています。そうしないと、一期  
生の何かを引きずりながら二期生  
がやらなければならぬと思いま  
す。そして、二期生に言いた  
いのは、最初に楽しい事をするべ  
きだということです。  
**司会** カンガク塾の活動に時折  
参加されて、塾長以下、第一  
期生が卒業し、第二期生及びこれ  
からの第一期生のOB会的組織の  
活動に町長として、今後どんなふ  
うに期待していますか。  
**町長** 私は期待しません。逆に  
自由にやって、私を呆れさせた  
り、困らせたりするようなメンバ  
ーであつてほしい。塾生全員では  
いろんな事情で海外研修ができな  
いが、一回実施すべきだと思ふ。  
日本人の考え方と外国人の大陸性  
の考え方は、全然違います。日本  
は、何千年も前から島の中にいて  
外国との交流がなかった。侵略も  
受けていないし、日本固有の文化  
はあるけれども、周りから磨きあ  
げられた国際感覚がない。これは  
肌感じます。外国へ行つて初め



田辺新 企画調整課長

### ちからを合わせて クリーン作戦

赤 縮

赤縮地区(棚辺石松区長)では、昨年八月一日の全町クリーン作戦に合わせて、朝七時から約二時間をかけて地区内のクリーン作戦を行いました。



▲親子で空き缶拾い

このクリーン作戦には、小学生約七十五人、中学生約二十一人、婦人団体、PTA、一般区民合わせて約二百人が参加しました。クリーン作戦のビニール袋を手に分かれて、神社、公民館周辺や県道周辺のごみや空き缶などを一生懸命拾い集めました。

また、同地区では全町クリーン作戦のほかに、自分たちの地区をきれいにしようと八月十三日、全家庭から参加してもらい、協力しあってごみ拾いや草取りなどを実施しました。早朝六時に作業を開始して、児童遊園地、神社と公民館周辺と地蔵様の周辺を三班に分かれて、草取りカマとほうきを手に行いました。



赤縮区長 棚辺石松さん

### 年間目標入館者 達成/じよんのび館

15万6,700人が入館

じよんのび館が開業してから八か月の十二月二十四日、予想よりも早く年間目標入館者数の十五万六千七百人を達成しました。

この日、家族四人で訪れた玉木孫一郎さん(中郷屋)に、記念品として、地元清酒二本、「じよんのび館」の招待券三十枚と地元銘菓ゆべしなどが贈られました。年間目標入館者数となった玉木さんは「家内はもう数え切れないほど来館していますし、母は持病の膝の痛いのが治ります」と話してくれました。



▲高橋社長(助役・左端)から記念品を贈られた玉木さん一家

### わが家の 防火対策(2)

「火事を出さない」ために住宅火災で、一番多いのが台所のガスコンロによるものです。そのうちの八〇%と大半を占めるのが、てんぷら油等によるもので、火災の原因のほとんどが消し忘れによるものです。てんぷら油は、三八〇度位で自然発火しますので、揚げ物をする時は、鍋から離れないでください。どうしても離れたい時は、必ず火を止めましょう。

ガスコンロから火災を出さないために、安全調理器具を使って住宅防火をしましょう。

安全調理器具は、揚げ物などの調理中に油が発火温度になる前に自動的に消火したり、使用中に火が吹き消えたときに、ガスを止める安全装置が組み込まれています。

「セイフル」と呼ばれるグリル付きガスコンロは、七つの機能を備え、安全な調理に役立ちます。

### 「セイフル」の 7つの安全機能

- ① 焦げ付き防止機能
- ② てんぷら油火災防止機能
- ③ 空炊き防止機能
- ④ コンロ消し忘れ防止機能
- ⑤ グリル消し忘れ防止機能
- ⑥ 立ち消え防止機能
- ⑦ 誤操作防止機能

また、ヒューズコック、強化ガスホース、金属可とう管で接続すれば、さらに安全です。

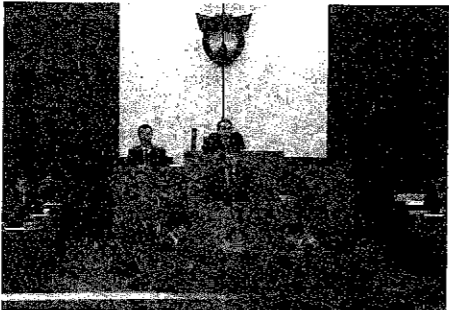
次回は、火事を出さないための安全調理器具について説明します。なお、住宅防火、安全調理器具についての、問い合わせは、消防署予防課(72-3309)にお願いします。



▲温度センサー

油ものなどの調理時に、鍋底の温度を検知し、発火温度に達する前に自動的にガスを遮断して火を消す安全装置付コンロ

## 12月定例議会



▲一般質問に答える佐藤町長

十二月定例議会は、十二月十三日から十六日まで四日間の日程で行われました。

議の結果、全議案が原案のとおり可決されました。また、議員提出議案五件は原案どおり可決され、請願五件も採択されました。主なものは、次のとおりです。

- ▼巻町在宅介護支援センター条例が制定され、在宅ねたきり老人等の介護者に対し、在宅介護等に関する相談に応じ各種保健、福祉サービスの実施機関等との連絡調整を図ら
- ▼平成五年度一般会計予算の歳入歳出にそれぞれ一億五千九百九十九万円を増額して、総額九億八千七百八十七万円になりました。
- ▼平成五年度国民健康保険特別会計予算の歳入歳出にそれぞれ二十

- ▼巻町職員定数条例が改正され、定数は、町長の事務部局の職員二百二十四人、議会の事務部局の職員四人、教育委員会の事務部局の職員五十五人、農業委員会の事務部局の職員九人となりました。
- ▼巻町立保育園条例の一部が改正され、「かきの実保育園」が加えられました。
- ▼可決された議員提出議案
  - ・医療と看護の充実を求める国への意見書。
  - ・学校五日制の早期完全実施に関する意見書ほか三議案。
- ▼採択された請願
  - ・「米の自給堅持、冷害対策」に関する請願。
  - ・「稲作農業の将来展望確立」に関する請願ほか三件。

角田浜にできた(株)欧州ぶどう栽培研究所(落希一郎社長)のワイナリー(ワイン生産施設)を訪ねてみました。名前は「カーブ・ドッチ」(落希さんのワイン蔵)とつけられています。ワイナリーは、松林の緑に囲まれた落ち着いた雰囲気の白い建物で、中に入ると上品なワインの香りが深い気分をなごませてくれます。新春をワイナリーで楽しんではいかがでしょうか。

### 表紙



にゆう  
ふえいす

### 渡 遺新樹くん(湯頭・9か月)

光浩さん、幸優利さんの2男。「これからの新しい時代に大きな樹のようにすくすくと健康に育ってほしいとお父さんが名付けました。ここは緑が多く空気がおいしく、近所の人とも温かく子供を育てるのにいい所です」寝返り、ハイハイ等発育がよく、動きもすばやいアークくんです。

### 12月末の人口

総数	30,219(+58)
男	14,673(+30)
女	15,546(+28)
世帯数	8,319(+18)

(土)は11月末からの増減

### お誕生おめでとう (12月16日~31日届出分)

名	前	出生日	保父	保母	地区
細川	馬和	12.4	健也	美幸	松野尾興業第一
相馬	馬和	12.9	九仁彦	範子	馬堀十二原
伊郷	柳平	12.10	孝浩	伸子	12 区
小岡	柳大	12.10	健也	泉	13 区
大澤	村大	12.12	喜男	新子	堀山団地
町田	澤卓	12.14	明弘	美美	竹野町
小田	田南	12.14	茂真	奈美	漆山8の丁
樋口	林幹	12.15	紀一	真理子	越前浜
棚白	口美	12.17	行夫	和美	河井区
八尾	白結	12.20	茂華	奈子	3 区
伊比	坂健	12.20	勉恵	子	松野尾興業第一
田邊	比達	12.22	宗宏	洋子	庚午団地
三島	田邊	12.22	貞夫	礼子	漆山4の丁
田村	島未	12.22	弘和	こずえ	尻尻区
	村聖	12.24	忍和	美	3 区

### ごめい福をお祈りします (12月16日~31日届出分)

名	前	死亡日	年齢	地区
玉川	哲威	12.16	78	越前浜
大橋	栄七	12.18	91	仁簡
高橋	忠藏	12.20	73	馬堀中組
坂井	篤栄	12.23	72	天神町
長谷川	マセ	12.23	87	8 区
中島	晴彦	12.25	27	堀山団地
田邊	健	12.30	63	馬堀下組



新年走り初め 第20回町民元旦マラソン大会 約460人が参加

おめでとう 1994年春

おだやかな幕開けの平成6年



平成6年元旦配達出発式  
全町各戸に年賀状を  
総数 580,877通



初もうて  
参拜者でにぎわう  
巻神社